

選定基準別提案内容と事業実績の確認

| | |
|--------|----------------|
| 施設名 | 神奈川県立相模湖交流センター |
| 指定管理者名 | アクティオ株式会社 |
| 指定期間 | R3.4.1～R8.3.31 |
| 施設所管課 | 土地水資源対策課 |

| 選定基準大項目 | 評価項目 | | | | 審査(評価)の視点(C) | 提案内容(D) | 指定期間 令和3年度の事業実績(E) | 所管課による課題分析等(F) | 事業実績の確認方法(G) | | | | |
|---|------------|-------------------------|---|---------|--------------|--|---|---|---------------------------------------|-----|---------|---------|--|
| | 選定基準中項目(A) | 小項目(B) | 配点 | 選定時の評価点 | | | | | 実績報告書 | 現地※ | その他 | | |
| I サービスの向上 | (1) | 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等 | ○指定管理者としての基本姿勢及び委託の考え方 | 5 | 5 | ○相模湖交流センターの設置目的を踏まえた指定管理業務全般を通じての総合的な運営方針、考え方 | ○水源地域ならではの事業の実施と知識の習得や水源地域での体験活動機会の創出、文化芸術や交流活動を促す多彩なジャンルの事業の実施 | ○コンサート等11回、絵画展2回を開催 | ○地元利用だけでなく他地域からのリピーターを増やしていくことが求められる。 | ○ | | | |
| | | | | | | ○業務の一部を委託する場合の業務内容等 | ○業務内容によって最適な企業への委託 | ○施設の保守点検等と多目的ホールの保守点検等を2社に委託 | ○今後も適切に業務を継続していくよう努めてもらいたい。 | ○ | | | |
| | (2) | 施設の維持管理 | ◎施設の特性を踏まえた維持管理 | 10 | 10 | ○多目的ホールをはじめとした施設の特性を踏まえた清掃業務、保守点検業務、受付業務、警備業務等についての実施方針 | ○清掃・衛生管理・保守点検などの業務を的確・スムーズに行い、利用者に安全・安心を提供すると共に、ホスピタリティあふれた快適な施設空間を提供する | ○業務の基準のとおり実施 | ○今後も適切に業務を継続していくよう努めてもらいたい。 | ○ | | | |
| | | | | | | ○相模原市立相模湖記念館と連携した効果的・効率的な維持管理の考え方 | ○神奈川県及び相模原市から与えられた業務について窓口・対応を一本化 | ○業務の基準のとおり実施 | ○今後も適切に業務を継続していくよう努めてもらいたい。 | ○ | | | |
| | (3) | 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金 | ◎利用促進のための企画・取組 ○現状分析・課題把握 ○広報、PR活動 ○接客、苦情処理、利用者ニーズの把握 ○利用料金 | 25 | 20 | ○水源地域における多様な交流活動の場を提供するための施設として、多目的ホールやアートギャラリーなどの施設の特性を活かした利用促進のための企画・取組 | ○地域住民等に一層活用される施設、施設運営に携わられるような参加性の高い施設を目指す | ○地元催事のほとんどが中止となったが、地域の来館者との良好な関係は持続されている。 | ○今後も地域住民等の参加性の高い事業を増やしていくことが求められる。 | ○ | ○ | | |
| | | | | | | ○施設の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等 | ○環境啓発事業、文化芸術事業、地域活性支援事業の3つを重点的に取り組んでいく | ○文化芸術7事業、地域活性支援6事業を実施した。 | ○環境啓発事業を増やしていくことが求められる。 | ○ | ○ | | |
| | | | | | | ○より多くの利用を図るために行う広報、PR活動の内容等 | ○各種情報媒体を積極的に活用 | ○HP、折込チラシ、マグカルカレンダーを活用 | ○SNS等新たな情報媒体の活用が求められる。 | ○ | ○ | | |
| | | | | | | ○サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等 | ○「生の声」の収集、鍵付き「ご意見箱」の設置、アンケートの実施により、利用者意見を収集・把握 | ○利用者アンケート14件回収 | ○アンケート回収件数を増やす更なる工夫が求められる。 | ○ | ○ | | |
| | | | | | | ○外国人、障害者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針 | ○人権研修や見られ公務員研修の実施、筆談器やルーペ | ○社内研修を実施 | ○現場での対応事例に即した研修を今後も継続してもらいたい。 | ○ | ○ | | |
| | | | | | | ○手話言語条例への対応 | ○コミュニケーション支援ボード等を設置 | ○コミュニケーション支援ボード設置済 | ○手話言語条例に対応した自主事業の企画等を増やしてもらいたい。 | ○ | ○ | | |
| | | | | | | ○利用料金の設定、減免の考え方 | ○水源地域の活性化、学校ゼミ、部活動及びサークル等利用には減免基準を高く設定 | ○減免基準設定済 | ○引き続き適正な減免基準を維持されたい。 | ○ | ○ | | |
| | (4) | 事故防止等安全管理 | ○事故防止等安全管理 | 5 | 4 | ○通常の指定管理業務を行う際の事故防止等の取組内容 | ○リスク特定・分析・評価の実施、リスク回避・低減策の実施、見直しと改善 | ○社内で情報共有 | ○引き続き情報共有に努められたい。 | ○ | ○ | 聞き取り | |
| | | | | | | ○事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針(利用者に外国人や障害者、高齢者が含まれていた場合の対応方針を含む) | ○事故を未然に防止し、利用者の安全を確保することを最優先 | ○職員に周知徹底 | ○引き続き職員への周知徹底を図られたい。 | ○ | ○ | 聞き取り | |
| | | | | | | ○急病人等が生じた場合の対応・救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等 | ○緊急連絡網や危機管理マニュアルを作成 | ○緊急連絡網等作成済 | ○現場の実態に即した適時の更新に遺漏ないよう留意されたい。 | ○ | ○ | 聞き取り | |
| | (5) | 地域と連携した魅力ある施設づくり | ○地域との連携及び協力 | 5 | 5 | ○施設の特性を踏まえた地域の人材の活用、地域関係団体等との協体制の構築、連携した事業の取組内容 | ○地域と積極的に関わりを持ち、対話を推し進めることで、地域との多様なネットワークを築く | ○地元自治会の会合等の会場として利用 | ○今後も地域住民等の参加性の高い事業を増やしていくことが求められる。 | ○ | | ○ 月例報告書 | |
| ○地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容 | | | | | | ○地域の企業や様々な地域文化団体等と連携 | ○友の会の組織運営 | ○地域の連携先のさらなる開拓が求められる。 | ○ | | ○ 月例報告書 | | |
| ○集客促進や地域の活性化につながる企画や取組、施設づくりに対する地域住民の参加の考え方 | | | | | | ○「地域を知り尽くす、掘り起こす」ことによる施設価値の最大化、地域振興・活性化 | ○開館20周年記念CDを作成、窓口で無料配布 | ○引き続き、施設の価値を高め、地域振興・活性化に貢献されたい。 | ○ | | ○ 月例報告書 | | |

| 評価項目 | | | | | 審査（評価）の視点 （C） | 提案内容 （D） | 指定期間 令和3年度の事業実績 （E） | 所管課による課題分析等 （F） | 事業実績の確認方法 （G） | | | |
|--------------------|----------------|--------------------------|----|-------------|---|---|----------------------------|-----------------------------|------------------|-----|-----|------|
| 選定基準 大項目 | 選定基準中項目 （A） | 小項目 （B） | 配点 | 選定時の 評価点 | | | | | 実績報 告書 | 現地※ | その他 | |
| Ⅲ 団体の 業務遂行能力 | (6) | コンプライアンス、個人 情報保護、社会貢献 | 8 | 6 | ○指定管理業務を実施するために必要な団体の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む） | ○「アクティオ倫理基準」の従業員専用カードの配布や「見られ公務員」研修等を実践 | ○社内研修を実施 | ○引き続き情報共有に努められたい。 | ○ | | ○ | 聞き取り |
| | | | | | ○指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況 | ○利便性を低下させずに省エネルギーを推進、循環型社会に配慮した消費行動の促進、持続可能性を支える環境意識の啓発 | ○新電力の利用によるコスト削減 | ○引き続き循環型社会に配慮した施設運営に努められたい。 | ○ | | ○ | 聞き取り |
| | | | | | ○法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績 | ○令和元年6月1日現在の障害者実雇用率は2.29% *法定雇用率2.2% | ○法定雇用率達成済（2.96%） | ○引き続き障害者雇用の確保に努められたい。 | ○ | | ○ | 聞き取り |
| | | | | | ○障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組についての考え方 | ○ともしび喫茶「青林檎」における交流活動や近隣福祉団体の活動発表の場の提供 | ○ポルトナット会ミーティング、津久井養護学校の昼食会 | ○引き続き福祉団体等への支援に努められたい。 | ○ | | ○ | 聞き取り |
| | | | | | ○社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）への取組 | ○それぞれの目標を達成するための取組み方針を設定 | ○取組み方針設定済み | ○引き続きSDGsへの取組に努められたい。 | ○ | | ○ | 聞き取り |
| | | | | | ○募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況 | ○有 再発防止策として「個人情報に関する研修」実施及び全社向け「個人情報漏えいに関する再発防止」通達 | ○個人情報漏えい等なし | ○引き続き個人情報保護を徹底されたい。 | ○ | | ○ | 聞き取り |
| | | | | | ○個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況 | ○個人情報保護マニュアルに則り、適切な個人情報保護に努め、個人情報保護法および「神奈川県個人情報保護条例」等関連条例を遵守 | ○職員に周知徹底 | ○引き続き職員への周知徹底を図られたい。 | ○ | | ○ | 聞き取り |

※「事業実績の確認方法（G）」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和3年度の事業実績（E）」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。